

保護者の皆さまへ

令和4年度 学校教育自己診断 結果報告書

河内長野市立加賀田中学校
校長 清水 貴浩

1. はじめに

今年度も生徒、保護者、教職員等の本校の教育に対する幅広い考えを知る目的で、「令和4年度 学校教育自己診断」を実施しました。この報告書では生徒、保護者調査を中心にその結果を考察し、本校の来年度以降の教育活動に活かしていきたいと思ひます。

2. 調査内容

本校の現状や課題、昨年度の調査結果等を考慮して、全生徒、保護者の方々に対して令和5年1月に18の調査項目（アンケート形式）で実施しました。内容については、「よくわからない」という選択肢をできるだけ避けるため、問いの文面を一部変更しています。集計結果及び考察等については、本校ホームページで掲載いたします。

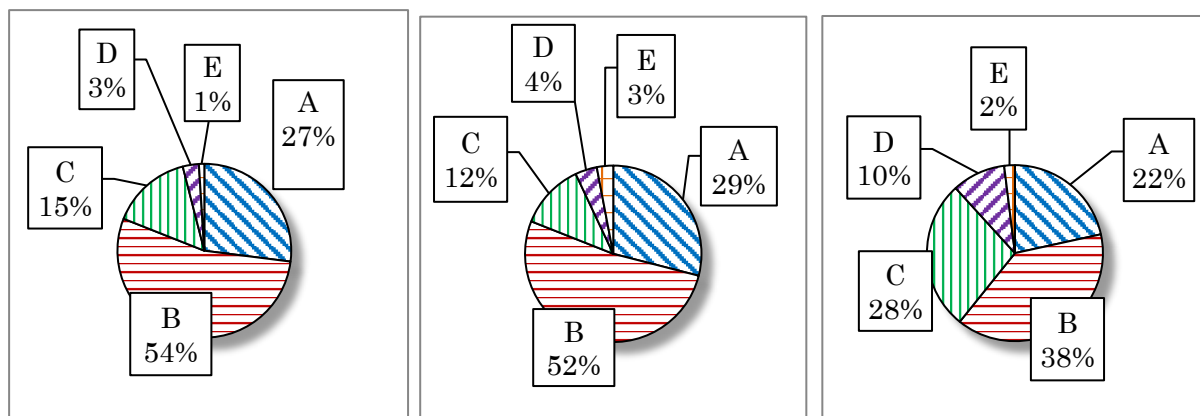
3. 調査結果

【アンケート結果の見方】

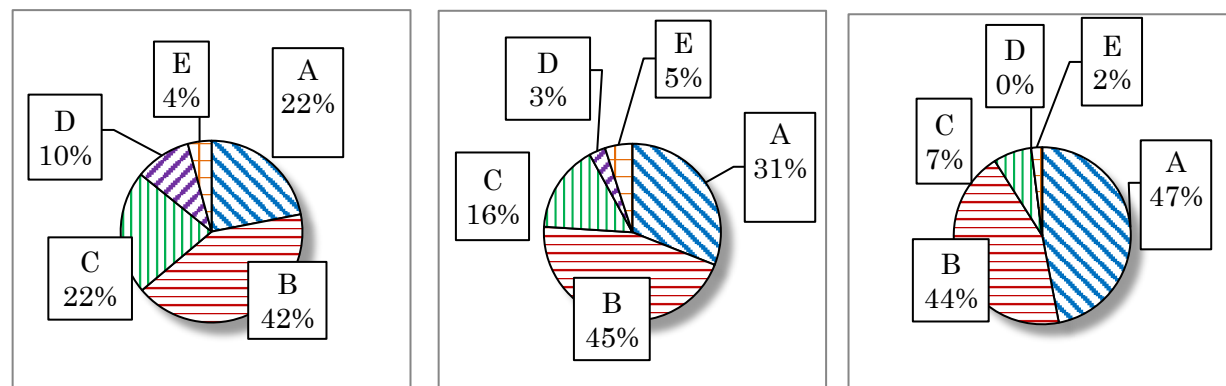
A：よくあてはまる B：ややあてはまる C：あまりあてはまらない
D：まったくあてはまらない E：よくわからない

生徒調査・・・18項目の結果を表示します。

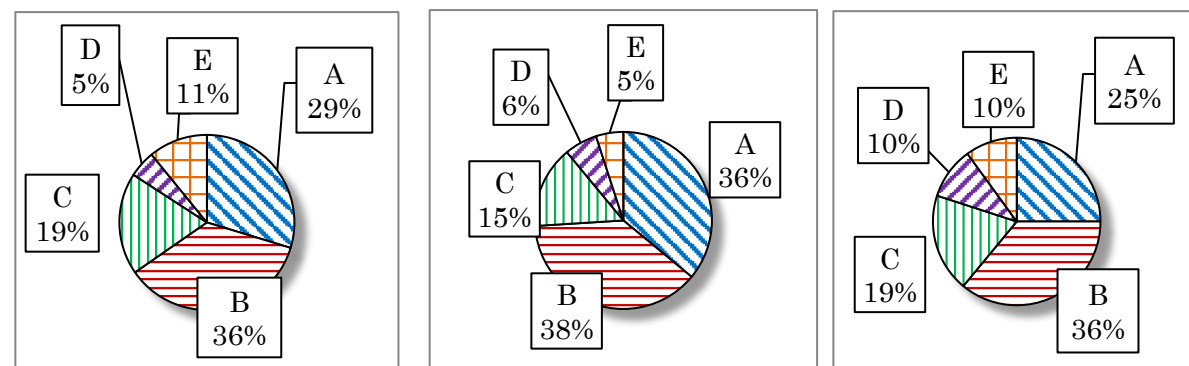
- 1. 全般的に授業はよくわかる。
- 2. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。
- 3. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することができる。



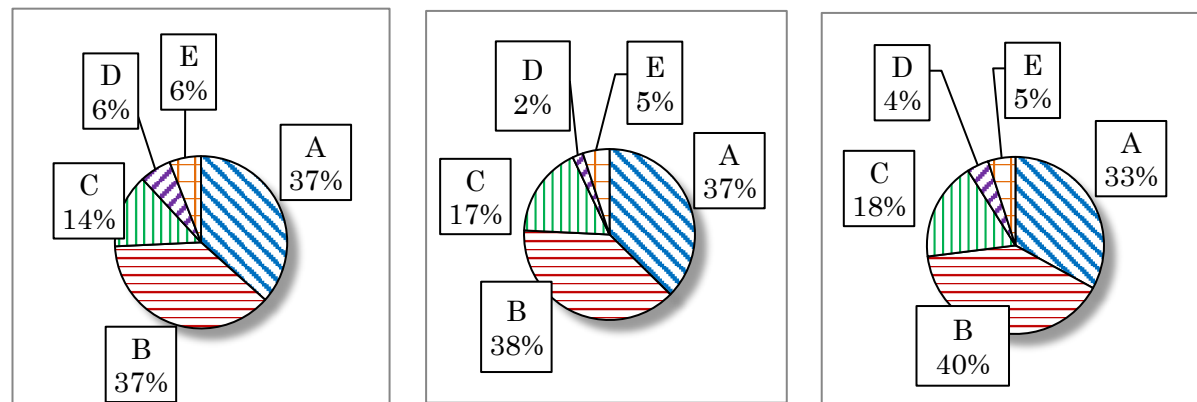
- 4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。
- 5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ工夫している先生が多い。
- 6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。



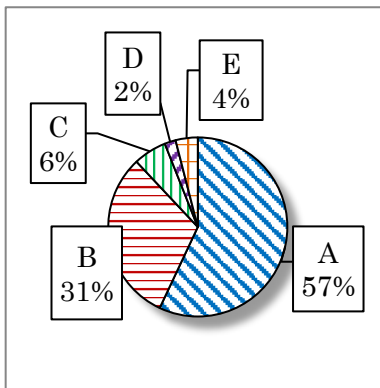
- 7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。
- 8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。
- 9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。



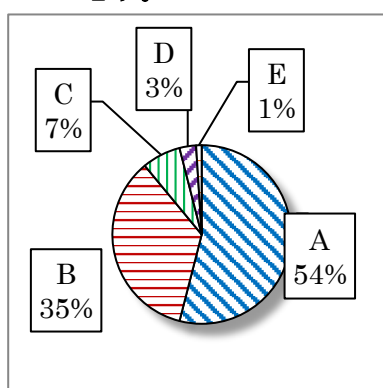
- 10. 部活動に積極的に参加している生徒が多いと感じる。
- 11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。
- 12. 生徒会活動や委員会活動には、自分のできる範囲で協力したいと思う。



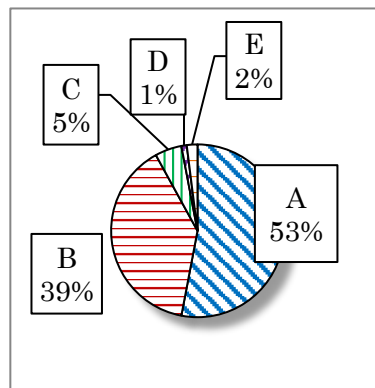
13. 今年の体育大会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



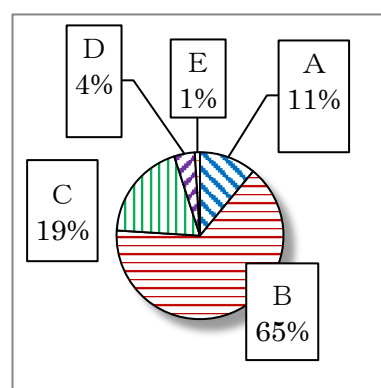
14. 今年の文化発表会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。



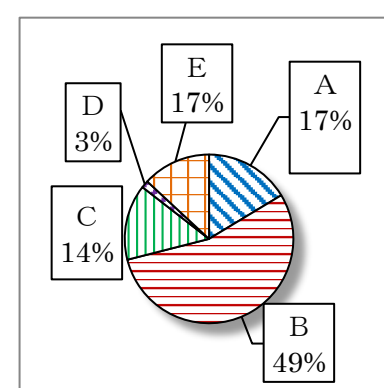
15. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。



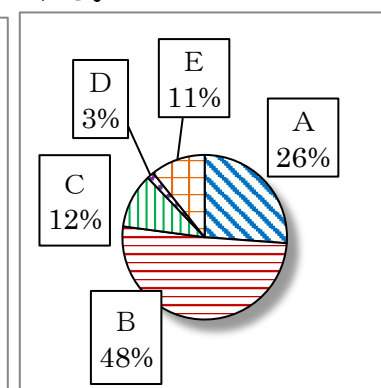
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。



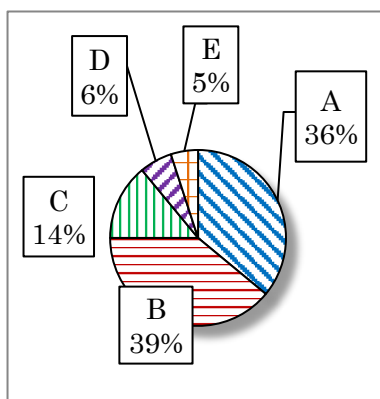
5. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。



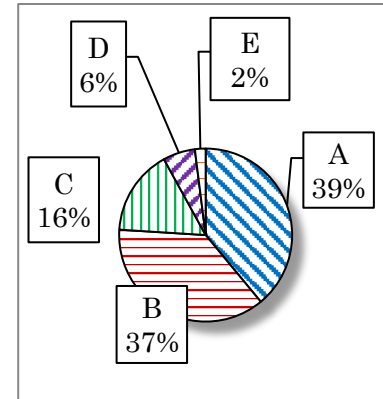
6. 学校は保護者が子どもの様子等について相談したことに適切に対応してくれる。



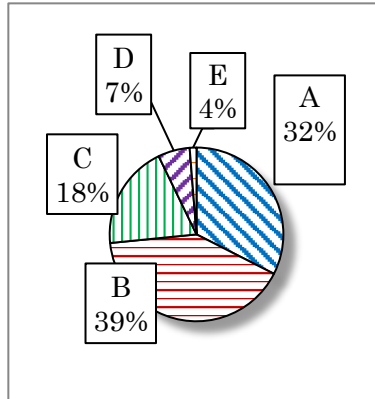
16. 昼食の時間は食事を楽しみ、ほっとする時間になっている。



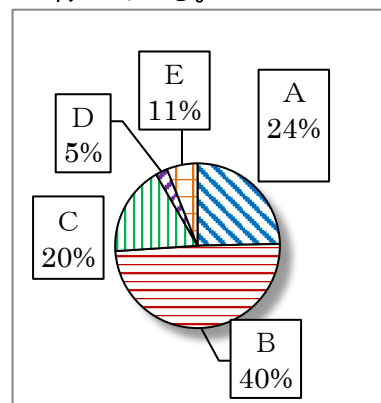
17. 学校からの配布物は、親に渡している。



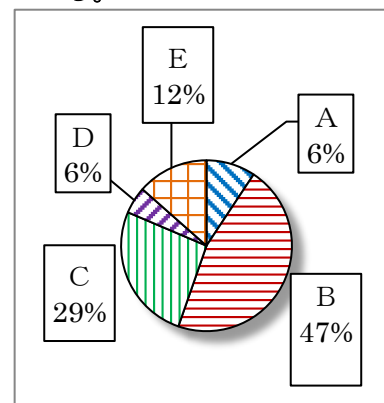
18. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。



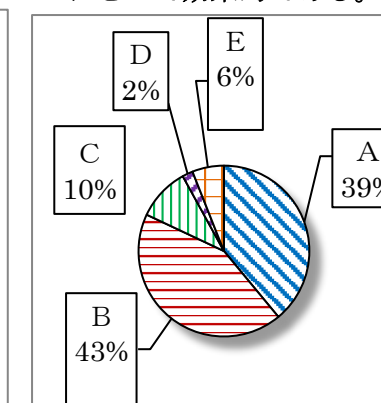
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。



8. 普段の授業について、子どもはわかりやすいと言っている。

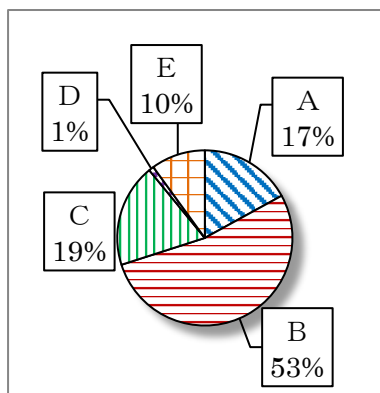


9. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である。

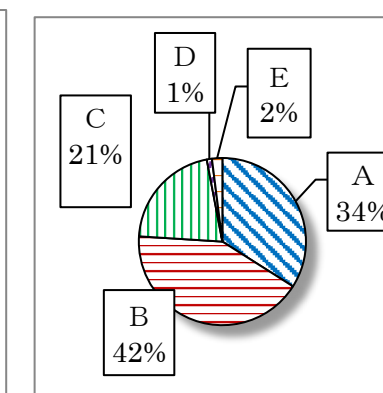


保護者調査・・・昨年同様に18項目の中から保護者の関心が高いと思われる調査項目を12項目選んで表示します。

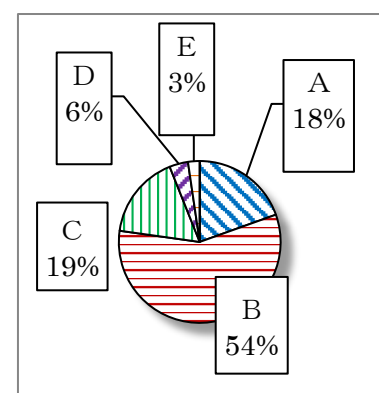
1. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。



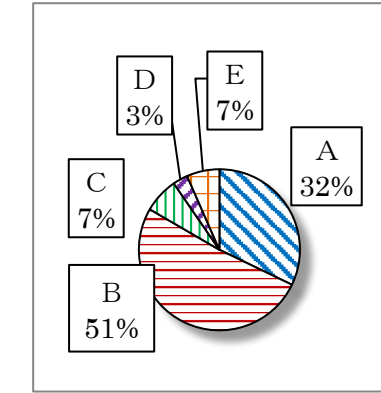
2. 授業参観や学級・学年懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。



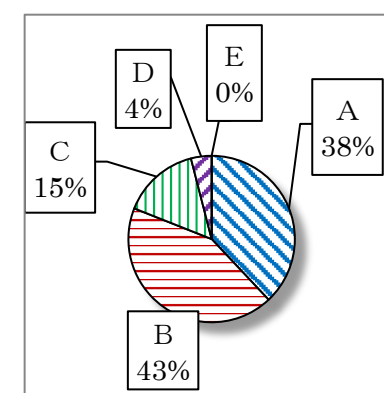
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。



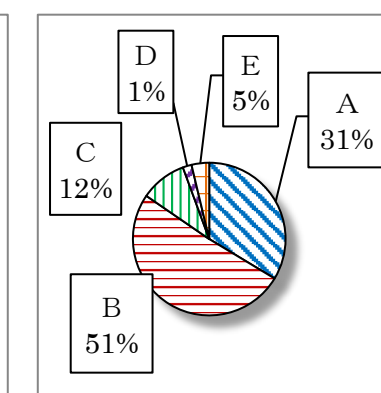
10. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。



11. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通してしている。



12. 学校から保護者への文書や連絡等は適切である。



経年比較調査・・・生徒調査及び保護者調査において、令和3年度と4年度の2年間を比較して、A及びBの合計が増加した項目と減少した項目を比較しました。(昨年度は3年間での比較調査を行いました、今年度は明確な傾向が表れなかったため2年間の比較にしました。)

○生徒調査 A(よくあてはまる)及びB(ややあてはまる)の合計が増加した項目

項目	令和3年 A B合計	令和4年 A B合計
3. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。	55%	60%
4. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。	57%	64%
6. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。	84%	91%
7. 一斉授業に比べて、少人数指導等(習熟度別学習や複数の先生による授業を含む)の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。	60%	65%
9. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。	59%	61%

●生徒調査 A(よくあてはまる)及びB(ややあてはまる)の合計が減少した項目

項目	令和3年 A B合計	令和4年 A B合計
1. 全般的に授業はよくわかる。	87%	81%
5. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方でいろいろ工夫している先生が多い。	83%	76%
8. 全般的に学校生活は楽しいと感じている。	80%	74%
11. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。	84%	75%
13. 今年の体育大会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。	94%	88%
14. 今年の文化発表会では、自分としては頑張って取り組むことができたと思う。	94%	89%
17. 学校からの配布物は、親に渡している。	85%	76%

○保護者調査 A及びBの合計が増加した項目

項目	令和3年 A B合計	令和4年 A B合計
4. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。	75%	76%

●保護者調査 A及びBの合計が減少した項目

項目	令和3年 A B合計	令和4年 A B合計
2. 授業参観や学級・学年懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。	84%	76%
3. 学校の教育活動やPTA活動には、協力していきたいと思う。	77%	72%
4. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。	71%	66%
7. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。	74%	64%
11. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通してしている。	87%	81%

4. アンケート結果の概要

生徒調査結果の概要

□A(よくあてはまる)及びB(ややあてはまる)の合計値が高かった上位5項目

1. 毎日の清掃活動にはちゃんと参加している。 92%
2. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。 91%
3. 今年の文化発表会では、自分としては一生懸命取り組みができたと思う。 89%
4. 今年の体育大会では、自分としては一生懸命取り組みができたと思う。 88%
5. 全般的に授業はよくわかる。 81%
5. 学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている。 81%

■A, Bの合計値が低かった上位5項目

1. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。 60%
2. 学校には何かあれば相談できる先生がいる。 61%
3. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。 64%
4. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。 65%
5. 学校の様子について、家庭で話し合う機会がある。 71%

保護者調査結果の概要

□ A, B の合計値が高かった上位 5 項目

1. 年間を通じての学校行事の内容や数は適切である。 83%
2. 学校から保護者への文書や連絡などは適切である。 82%
2. 一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である。 82%
4. 学校からの子どもを通じての配布物には、目を通してしている。 81%
5. 授業参観や学級・学年懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。 76%
5. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。 76%

■ A, B の合計値が低かった上位 5 項目

1. 普段の授業について、子どもは分かりやすいと言っている。 53%
2. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 64%
3. 学校は、子どもに人権を尊重しようとする意識を育てようとしている。 66%
4. 学校の教育目標や指導方針は、分かりやすく保護者に知らされている。 70%
5. 学校の教育活動や PTA 活動には、協力していきたいと思う。 72%

経年比較調査結果（生徒）の概要

◇ 生徒調査において、令和 3 年度と今年度を比較して A, B の合計値が増加した数値が大きかった上位 3 項目

1. 授業中分からないことがあれば、質問をすることができる。 7%
1. 学校では、人権の大切さについて学習する機会がある。 7%
3. 授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある。 5%
3. 一斉授業に比べて、少人数指導等（習熟度別学習や複数の先生による授業を含む）の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した。 5%

◆ 生徒調査において、A, B の合計値が減少した数値が大きかった上位 3 項目

1. 本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う。 9%
2. 学校からの配布物は、親に渡している。 9%
3. 自分が習っている先生の中では、指導の仕方ですいろいろ工夫している先生が多い。 7%

経年比較調査結果（保護者）の概要

◇ 保護者調査において、A, B の合計値が増加した数値が大きかった 1 項目

1. 学校での子どもの生活や学習内容については、ある程度把握している。 1%

◆ 保護者調査において、A, B の合計値が減少した数値が大きかった上位 3 項目

1. 学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている。 10%
2. 授業参観や学級・学年懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている。 8%
3. 学校からの子どもを通じての配布物には目を通してしている。 6%

5. 考察及び今後の改善策

生徒調査結果（経年比較を含む）の考察等

○生徒の調査結果で最も肯定的意見が多かったのは、「毎日の清掃活動にはちゃんと参加している」でした。一斉清掃の時間に校内を巡回して目にするのは、どの生徒も使命感を持って自分の担当場所の清掃に携わっている姿です。古い校舎ではありますが、校内でゴミの放置を見かけることはほとんどありません。今後もしっかり校内の美化に努めてほしいと願っています。

○続いて多かったのが、「学校では、人権の大切さについて学習する機会がある」でした。本校区ではここ数年、小中一貫教育のなかで「人権」をテーマにした研究を進め、毎年どこかの学年・学級で研究授業を実施しています。生徒にも時に人権の話題を投げかけ、しっかり考える取組みを継続しています。本中学校区全体の人権意識が少しずつ高まっていることを実感しています。

○「今年の体育大会、及び文化発表会では、一生懸命取組みができたと思う」の項目については、経年比較では減少していましたが、どちらの行事も生徒が一定程度達成感を感じていたと考えられます。毎年、これらの行事は、高い肯定的数値を示していますので、今後も自主性や責任感の醸成、集団づくり等の観点から学校行事を推進していきます。

○一方、経年比較で見ると「授業中分からないことがあれば、質問をすることができる」や「授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある」の項目は、例年、肯定的意見が大変少なく、本校の継続的な課題でした。しかしながら、今年度はどちらも昨年度を上回り、授業や学習に対する意欲や積極性が少しずつでも高まってきたのではないかと期待を抱かせます。現在実施している本校の学力向上研修に是非とも反映させたいと思います。

●最も肯定的意見が少なかったのは、「授業や学級活動で、自分の意見を発表することがある」で前述したとおりですが、次に少なかったのは、「学校には何かあれば相談できる先生がいる」でした。経年比較では昨年度をわずかに上回っていますが、これについては、本校教職員の日頃の姿勢や生徒への向き合い方にかかっており、教職員一人ひとりの課題であるとともに学校組織全体の課題でもあります。カウンセリングの充実や担任以外でも相談できる指導・支援体制の構築等によって改善していきたい思います。

●「一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、発言しやすいなど、学習意欲が向上した」については、経年比較では昨年度を上回っていますが、やはり肯定的意見は少なかったです。「よくわ

からない」という回答が11%あり、少人数指導の良さがまだまだ伝わっていないことがわかります。来年度以降もその趣旨を担当教員がしっかり意識して授業に取り組むことが必要です。また、1・2年生はクラスの生徒数が多く、少人数といってもかなりの数になりますが、それぞれのクラスの指導方法に特色を持たせることによって、少しずつでも効果が出てくると考えています。

●一方、経年比較で昨年度を大きく下回っていたのは「本校の生徒会活動や委員会活動は活発だと思う」や「学校からの配布物は、親に渡している」でした。特に生徒会や委員会の活動については、外から見れば意欲的にみえますが、当人たちにとっては、充実感や達成感に不足があるのかもしれません。委員会や生徒会担当教員と生徒との意見交換が今後、必要だと考えています。

●調査結果では、顕著な数値は出ていませんが、「全般的に授業はよくわかる」「学校生活の基本は毎時間の授業なので大切にしたいと思っている」という授業に関する調査結果では、やはり肯定的意見が昨年度を下回っています。これについては今年度実施した教科の研究授業でも、一斉指導のほか、ペアやグループでの学習や、タブレット等を使っての発表の機会を増やす工夫などを取り入れ、授業に興味関心を持たせる取組みを推進しました。

保護者調査結果（経年比較を含む）の考察等

○保護者の調査結果で肯定的意見が多かったのは、「年間を通じての学校行事の内容や数は適切である」「学校から保護者への文書や連絡などは適切である」「学校からの子どもを通じての配布物には、目を通して」で、どれも80%を超えていました。これについては、保護者の学校に対する関心度の指標と捉え、学校としては保護者の教育的ニーズに答えるべく、日々の学校運営に取り組むとともに、文書や連絡については、平時から学校・家庭間の連絡を密にして、お互いの信頼関係構築に向けて丁寧な情報発信を続けていきます。

○続いて多かったのが、「一斉授業に比べて、少人数指導等の方が、子どもにとって効果的である」でした。これは、生徒の調査結果でも触れたように、少人数指導の教育的効果とその趣旨を担当教員がしっかり意識して授業に取り組むとともに、それぞれのクラスの指導方法に特色を持たせることで、さらに効果が出てくると考えています。

●一方で「普通の授業について、子どもは分かりやすいと言っている」という項目については、今年度は肯定的意見が53%と昨年度よりも下回っています。生徒調査（肯定81%）との差異はあるものの、私たち教職員は結果を真摯に受け止める必要があります。生徒一人ひとりが授業内容を確実に自分のものにするために、教職員が生徒としっかりコミュニケーションをとり、指導内容の確認や日々の振り返りをきちんと実施し、さらには教材等を工夫して丁寧に授業を進めていきます。

●次に肯定的意見が少なかったのは「学校は、家庭への連絡や意思疎通をきめ細かく行っている」で、昨年度より10%の減少となりました。学校と各家庭との連絡や意思疎通、相談等での満足度がこの間、急激に減少していることは大きな課題です。各学年担任をはじめ学年集団全員が、生徒一人ひとりの様子をきちんと把握し、情報共有しながら保護者との連絡、相談を密にする必要に迫られています。

●経年比較でみると「授業参観や学級・学年懇談会には、出来るだけ参加するよう心がけている」で8%の減少となりました。この間のコロナ禍で授業参観や懇談会の実施が滞って、保護者が学校から離れていることの影響もあろうかと思いますが、保護者の学校に対する関心が低下していることも十分考えられます。従って私たち教職員は、この数値を大きな課題としてとらえ、保護者に対して、学校の現状をよりくわしく伝え、興味関心をもって教育活動にかかわっていただけるよう創意工夫が必要だと考えています。

6. おわりに

本調査にご協力いただきました保護者の皆さま、誠にありがとうございました。

今年度、本校の学校行事は、新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも各行事ごとに全教職員でしっかりと議論し、感染症対策を万全にしてほぼ実施することができました。

学校行事は、本校教育目標の「自主」と「協調」を体現する場として、また、生徒たちの自尊感情や達成感を高める場として、最も大切な活動であると位置付けています。保護者や地域の皆さま、学校運営協議会委員の皆さまのご理解とご協力をいただき、本校教育活動を推進できましたことに心よりお礼を申し上げます。

今回の調査結果から、本校の来年度に向けての成果と課題が明確になりました。

生徒及び保護者からの肯定的評価については、私たち教職員にとって大きな自信となり、今後も皆さんの期待に添えるよう、精一杯学校運営に携わってまいります。

一方で、調査全体を考察しましたら、生徒、保護者調査ともに肯定的評価が昨年度より低下した項目が数多く見られました。特に保護者調査における「普段の授業について子どもはわかりやすいと言っている」という項目の「あまりあてはまらない」という回答29%は、全項目中で最も高かったです。繰り返しになりますが、私たちは、その意見を十分に汲み取って授業改善や指導方法を工夫するとともに、発問の仕方や生徒の意見への共感など、授業中のコミュニケーションをより丁寧に行い、生徒が気持ちよく授業にのぞめるよう取り組んでまいります。

評価が低下した項目や本アンケート用紙の文章表記欄でいただいたご意見に対しましては真摯に受け止め、全教職員による年度末反省会や各部会等での話し合いを通して今後の学校運営に活かしてまいります。個人的に学校運営に対するご意見がありましたら、いつでも学校あてご連絡をお願いします。

引き続き、皆さま方のご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。